

JICA 基金活用事業 案件概要

I. 事業の概要	
1. 事業名称	新潟の若者とベトナムの孤児院の子どもたちをつなぐ、教育支援とソーシャルスキル向上プロジェクト
2. 活動国・地域	ベトナム社会主義共和国・ラムドン省ダウアイ地区マダグイ町
3. 事業分野	<input checked="" type="checkbox"/> 開発途上国・地域の人びとの貧困削減や生活改善・向上に貢献する事業 <input type="checkbox"/> 日本国内の多文化共生社会の構築推進、外国人材受入れ支援に関する事業
4. 事業の目標	・対象地域にて、困窮する孤児や障がい児の学力とソーシャルスキル育成・自立支援 ・新潟の若者の社会参加を促し、地域の国際理解を深めること
5. 事業の背景・経緯・対象地域の課題・人びとのニーズ	ベトナムでは経済成長の一方で貧困が残り、多くの孤児が支援を必要としています。マダグイ子どもセンターでは、孤児や少数民族の子ども 60 名（うち 12 名は障がい児）が生活し、教育費への対応及び将来的な自立に向けた取り組みが求められています。本事業では、子ども達への教育支援とものづくり学習支援活動を通じ、成長の過程で社会生活に必要な力を養う活動を行います。同時に、子どもセンターの自立的な運営を目指し、ものづくり活動を通じた成果品販売の販路拡大に取り組みます。
6. 事業の意義・目的	・困難な状況にある子どもたちへの将来の可能性を広げる教育支援活動であること。 ・線香やビーズ製作の「ものづくり学習」を通じた社会的スキルを育む活動であること ・日本での国際理解と地域の引きこもり青年の社会復帰を後押しする取り組みであること
7. 主な対象者（受益者）	マダグイ子どもセンターで生活する障がい児童を含む孤児及び困窮家庭の子ども 約 60 名、新潟地域の青年 約 8 名
8. 実施期間	（西暦）2026 年 1 月～2027 年 1 月
9. 活動内容	1.教育支援：就学児童への学費や教材、給食費を支援し、安定した学習環境を整えます。また、週 3～4 回の学習教室を開き、授業の復習を通じて学力向上を図ります。 2.ものづくり学習によるソーシャルスキル向上支援：数珠球（ビーズ）製作は中高生男子が機械を扱い、小学生がプレスレットを製作します。線香製作は小中学生全員が参加でき、低学年や障がい児も取り組みます。また、日本・ベトナムでの販路拡大及び日本国内では、地域の若者と共に「アクセサリー作りワークショップ」を開催し、当団体活動の認知を広げます。
9. 事業費	1,000,000 円
II. 団体の概要	
1. 実施団体	特定非営利活動法人新潟国際ボランティアセンター
2. 主な活動内容	1990 年に設立、海外事業としてベトナムにて奨学金支援や孤児・障がい児支援、裁縫教室支援、スタディツアーを実施しています。国内ではチャリティーバザーや若者支援を行っています。さらに機関紙『かけ橋』の発行や講演・ワークショップなどを通じて活動を継続しています。